

# 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用資料集 (中学生用)

地球温暖化対策ワークブックを使用する教員の皆さまの参考としていただくため、県内中学校へのアンケートを基に、実際に中学校で使用された事例をまとめた地球温暖化対策ワークブック活用事例をまとめました。

また、教科書の単元とワークブックとの関連を示した地球温暖化対策ワークブック活用表を併せて作成しました。

本資料集を御参照いただき、ぜひ授業等で地球温暖化対策ワークブックを御活用ください。

## ◆本資料集の構成

- 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用事例・・・1ページ～  
県内中学校へのアンケートをもとに、中学校の授業等で、実際にワークブックを活用した事例についてまとめています。  
※令和4年度までに使用した教科書での活用事例が掲載されています。  
※単元名等は、アンケート回答欄に記載されていたものです。
  
- 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表・・・3ページ～  
中学生の社会、理科、保健体育、技術・家庭について、中学校で使用する教科用図書の単元・題材、学習指導要領と、ワークブックの内容との関連をまとめています。

## 福岡県地球温暖化対策ワークブック（中学生用）活用事例 （中学校へのアンケート結果から）

### ◆中学生

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
社会科	持続可能な未来の社会へ	SDGsと関連させながら、調べ学習の資料として活用し、レポートにまとめた。	全体
	持続可能な社会を目指して	教科書の記述の補助として活用した。	全体
	国際社会	再生可能エネルギーの利用について振り返りの学習に用いた。	23～24ページ 4（5）再生可能エネルギーの活用  35～36ページ <SDGsの視点で考えよう>
	貧困解消と環境保全	地球温暖化の授業の振り返りと宿題に用いた。	1～2ページ 1 地球温暖化とは何か  11～12ページ 3（2）森林の減少
理科	地球の明るい未来のために	「持続可能な社会」や「これからのわたしたちの暮らし」をテーマに調べ学習を実施し、発表した。	全体
	気象のしくみと天気の変化	地球温暖化対策（適応策）について学習し、ハザードマップを作成した。	3～4ページ 2（1）災害の発生  14ページ 4 地球温暖化に対してできること  25～26ページ 4（6）災害に備える
	地球と私たちの未来のために	ワークブック前半を用いて生徒に説明し、現在起きている環境問題を具体的に考えさせた。	1～12ページ 1 地球温暖化とは何か 2 地球温暖化の影響 3 地球温暖化の原因
	自然界のつながり	調べ学習の教材として、クロームブックからワークブックを開かせておいて活用した。	全体

教科	単元名等	活用方法	ワークブック活用箇所
技術・家庭	エネルギー変換	エネルギー変換に関する技術について、環境的・経済的・社会的側面から意見発表を行った。	9～10ページ 3 (1) 化石燃料の利用  15～16ページ 4 (1) 住まい方の工夫  23～24ページ 4 (5) 再生可能エネルギーの活用
	衣食住の生活 持続可能な衣生活 住生活と自立	学習プリントや教科書の補足資料として活用した。	15～18ページ 4 (1) 住まい方の工夫 4 (2) 衣服の着方の工夫
	食事の役割 食生活と自立	調べ学習の教材として活用した。	19～20ページ 4 (3) 食生活の工夫
総合	防災減災教育	掲載されているQRコードをタブレット端末で読み取らせ、閲覧した。	3～4ページ 2 (1) 災害の発生
	環境問題について	地球温暖化の影響がどのようなところに現れているのか調べ、課題を解決するために何を行えばよいかレポートにまとめさせた。	3～8ページ 2 (1) 災害の発生 2 (2) 生物への影響 2 (3) 21世紀末の気象

# 福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

## 目次

### ◆ 中学 社会<sup>\*</sup> . . . 5

帝国書院  
教育出版  
東京書籍  
日本文教出版

### ◆ 中学 理科 . . . 9

大日本図書  
東京書籍  
学校図書  
教育出版  
啓林館

### ◆ 中学 保健体育 . . . 11

東京書籍  
大日本図書  
大修館書店  
学研教育みらい

### ◆ 中学 技術・家庭 . . . 12

東京書籍  
教育図書  
開隆堂

活用表では、教科書の単元（題材）と福岡県地球温暖化ワークブックで学習できる項目、学習指導要領（平成29年3月告示）との関連付けをそれぞれ行い、表形式で示しています。

活用表の見方については、次ページに示しています。

※社会科については、地理分野、歴史分野、公民分野の3分野全てを出版している教科書出版会社を対象として作成しています。

<活用表の見方>

福岡県地球温暖化対策ワークブック 活用表

			①		教科名	
②			③		④	
教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
□□書院	□□出版	□□書籍	項目	ページ		
第1部 □□ 第3章 □□ 4節 □□ ○地球温暖化の影響と対策 ・氷河の縮小，地球温暖化，パリ協定	第1編 □□ 第3章 □□ ○原子力発電と環境問題 ・地球温暖化と原子力発電の安全性	第1編 □□ 第3章 □□ 2節 □□ ○EUの取り組み ・地球温暖化などの問題	2 . . . . . . (2) . . . . . . . . . .	△-▲	B(2) ○○	ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) □□を理解すること。

<記載内容>

- ① 教科名 教科名を記載。
- ② 単元（題材） 教科書に記載されている単元または題材を，出版社別に記載。
- ③ ワークブック 教科書の各単元（題材）で学習する際に使用可能な地球温暖化対策ワークブックの項目，その項目のページを記載。
- ④ 学習指導要領 教科書の各単元（題材）に該当する学習指導要領（平成29年3月告示）の内容を記載。

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ	[地理的分野]	
[地理的分野]							
	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2 ヨーロッパ州 ⑤持続可能な社会づくり 環境対策と再生可能エネルギー ○環境問題への関心の高まり ・地球温暖化 ○発電方式の見直し ・化石燃料 ○再生可能エネルギーへの期待 ・風力、太陽光、バイオマス、再生可能エネルギー	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2節 ヨーロッパ州 -国どうしの統合による変化- 3 持続可能な社会に向けて ○環境問題への取り組み ・再生可能エネルギー、持続可能な社会	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 2 ヨーロッパ州 -国境を越えた統合をテーマに- ④統合による社会の変化と課題 ○環境保全による持続可能な社会への取り組み ・リサイクル、持続可能な社会 ○環境に配慮した資源・エネルギー政策と課題 ・風力発電、太陽光発電、バイオマス発電、再生可能エネルギー、地球温暖化	4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	23~24	B(2) 世界の諸地域	(ア) 次のような知識を身に付けること。  (ア) 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解すること。
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第4節 北アメリカ州 5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題 ○持続的な社会を実現するための課題 ・地球温暖化、再生可能エネルギー			第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 4 北アメリカ州 -世界に影響をあたえる産業をテーマに- ⑤⑥大量生産・大量消費の生活スタイルと持続可能な社会 ○大量生産・大量消費をめぐる問題 ・廃棄物、資源、地球温暖化、温室効果ガス ○新たな取り組み ・持続可能な社会、環境保全	4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	23~24		
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第5節 南アメリカ州 4 ブラジルにみる開発と環境保全 ○熱帯林の伐採による影響と保全の取り組み ・熱帯林の伐採、地球温暖化	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 5 南アメリカ州 ③アマゾン流域の地域開発 ○開発と生活 ・熱帯林の伐採、環境破壊 ○持続可能な開発 ・環境保全、持続可能な開発、森林破壊	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 5節 南アメリカ州 -開発の進展と環境問題- 3 開発の進捗と影響 ・バイオエタノール、再生可能エネルギー、持続可能な開発	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 5 南アメリカ州 -開発と環境保全をテーマに- ③世界規模の環境問題と改善に向けた取り組み ○大規模で急速な開発による環境問題 ・地球温暖化 ○熱帯雨林を守る取り組み ・環境保全、持続可能な開発 ○環境に配慮した新しい取り組み ・持続可能な農業、バイオ燃料 (自由研究) 地球温暖化を防ぐために	3 地球温暖化の原因 (2) 森林の減少	11~12		
第2部 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 第6節 オセアニア州 1 オセアニア州の自然環境 環境 地球温暖化による影響と危機 ・海面上昇、ツバル、地球温暖化	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 6 オセアニア州 ③他地域との関係を深める (地理の窓) ツバルの人々の暮らしと危機 ・海面上昇	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 6節 オセアニア州 -強まるアジアとの結びつき- (もつと地理) 水没の危機にあるツバル ・地球温暖化、海面上昇	第2編 世界のさまざまな地域 第2章 世界の諸地域 6 オセアニア州 -多文化が共存する社会をテーマに- ③太平洋の島々の多様な文化と自然環境 ○深刻化する環境問題 ・地球温暖化、海面上昇、ツバル	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①~②		

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ	[地理的分野]	
[地理的分野]							
第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 5 自然災害に対する備え ・防災、減災、気象災害、公助、自助、共助、ハザードマップ  ○技能をみがく19 ハザードマップの読み取り方 ○技能をみがく20 防災情報の入手のしかた	第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の方法を学ぼう ⑤地域の防災について調べる ○現地での調査  第2章 日本の特色と地域区分 ⑥災害から身を守るために ○防災から減災へ ・ハザードマップ、減災、公助、共助、自助	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 3 自然災害と防災・減災への取り組み ○防災対策と防災意識 ・防災マップ(ハザードマップ)、減災	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ⑤⑥災害にそなえるために ・防災対策、減災、ハザードマップ、自助、共助、公助 (自由研究)「釜石の軌跡」はなぜ起こったのか (チャレンジ地理)ハザードマップをより深く知り、使うために	2 地球温暖化の影響 (1) 災害の発生  4 地球温暖化に対してできること (6) 災害に備える	3~4  25~26	C(2) 日本の地域的特色と地域区分  (ア) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解すること。  (ウ) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解すること。	
第3部 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色 7 日本の資源・エネルギーと電力 ○生活を支える電力 ○持続可能な社会に向けて ・地球温暖化、再生可能エネルギー、省エネルギー、リサイクル、持続可能な社会	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の特色と地域区分 ④輸入に頼る資源・エネルギー ○資源やエネルギーを取り巻く問題 ・化石燃料、地球温暖化、持続可能な社会、再生可能エネルギー、地熱、バイオマス	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 5 資源・エネルギーから見た日本の特色 ○資源を活用と環境への配慮 ・地球温暖化、再生可能エネルギー、リデュース、リユース、リサイクル (もっと地理)日本のエネルギーのあらまし ・風力発電、地熱発電、バイオマス発電	第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分 ⑧資源・エネルギーから見た日本の地域的特色と地域区分 ○資源を確保するために ・3R(リデュース、リユース、リサイクル) ○環境問題への取り組み ・太陽光発電、風力発電、地熱発電、再生可能エネルギー	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用  4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	9~10  23~24		
第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 2 火山と共にある九州の人々の生活 ・地熱発電所  第3節 近畿地方 5 環境に配慮した林業と漁業 ・二酸化炭素を吸収、地球温暖化を防ぐ役割	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 ③特色ある自然と多様な農業(地理の窓)循環型農業を目指して ・バイオマスエネルギー	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 -自然と共に生きる人々の暮らし ③自然の制約の克服と利用 ○火山のめぐみ ・地熱発電、バイオマス発電、再生可能エネルギー	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方-自然環境をテーマに- ②自然環境に影響を受ける人々の生活 ・地熱発電、洪水、土砂くずれ、防災、減災、太陽光発電	4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	23~24		
第3部 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方 地域の在り方を考える 自然環境の再生から資源循環型社会へ～工業の発展と公害をいち早く経験した福岡県北九州市を例に～ ・資源循環型社会、再生可能エネルギー、SDGs	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方 ④工業の移り変わりや環境保全 ・北九州工業地域、リサイクル工場	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 -自然と共に生きる人々の暮らし- ④持続可能な社会をつくる ○工業化による地域の問題 ・エコタウン、リサイクル ○環境と開発の両立 ・持続可能な社会、北九州市、水俣市	第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1 九州地方-自然環境をテーマに- ⑤工業の変化と自然環境の保全 ○世界の環境都市をめざす北九州市 ・エコタウン、リサイクル事業、再生可能エネルギー、持続可能な社会(日本の諸地域をふりかえろう) ・SDGs				

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ		
<b>[地理的分野]</b>						<b>[地理的分野]</b>	
第4部 地域の在り方 第1章 地域の在り方 1 課題を把握しよう ・持続可能な社会	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 地域のあり方 ①②地域の課題をとらえる ・リサイクル, 防災	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 地域の在り方 ①身近な地域の課題を見つける ○地球規模の課題とSDGs ・持続可能な開発目標 (SDGs)	第3編 日本のさまざまな地域 第4章 地域のあり方-京都市を例に- ① 地域の課題と特色をつかもう ・自然と防災	5 自分たちにできることを計画して実践しよう	31~36	C(4)地域の在り方	ア 次のような知識を身に付けること (ア) 地域の実態や課題解決のための取組を理解すること。
<b>[歴史的分野]</b>						<b>[歴史的分野]</b>	
第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり 第6章 現在に続く日本と世界 第3節 これからの日本と世界 3 国際社会におけるこれからの日本 ○環境と資源エネルギー ・地球温暖化, 脱炭素化, パリ協定, 持続可能な社会  多面的・多角的に構想する-未来に向けて- ・SDGs	第7章 現代の日本と世界 3節 冷戦の終結とこれからの日本 ②未来をひらくために ○平和を築くために ・オゾン層の破壊, 地球温暖化, 京都議定書, パリ協定  歴史学習の終わりに ~歴史を振り返って, 未来を構想しよう ○現代の課題について, 歴史の流れをふまえて考えてみよう ・SDGs	第7章 現代の日本と私たち 3節 新たな時代の日本と世界 3 持続可能な社会に向けて ○進展するグローバル化 ・地球温暖化 ○持続可能な社会 ・持続可能な開発目標 (SDGs), 持続可能な社会 (もっと歴史) 日本のエネルギーのこれまで ○地球温暖化と再生可能エネルギー	第6編 現代の日本と世界 3 グローバル化と日本の課題 ③これからの世界と日本の課題 -歴史の歩みと私たち- ○世界のなかの日本の課題 ・持続可能な地球社会 ○解決をせまられる国内課題 ・防災, エネルギー問題	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①~②	C(2)現代の日本と世界	ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界 高度経済成長, 国際社会との関わり, 冷戦の終結などを基に, 我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解すること。
<b>[公民的分野]</b>						<b>[公民的分野]</b>	
第4部 国際 第1章 国際社会 第2節 貧困解消と環境保全 2 地球規模で広がる環境問題 ・地球環境問題, 地球温暖化, 京都議定書, 温室効果ガス, パリ協定	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち ⑥これからの資源・エネルギー ○限りある資源 ・化石燃料, 石炭, 石油, 天然ガス ○新しいエネルギーとこれから ・再生可能エネルギー, 太陽光, 風力, 地熱, バイオマス	第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 1 地球環境問題 ○地球温暖化と気候変動 ・地球温暖化, 温室効果ガス, 海面上昇 ○国際社会の取り組み ・国連環境開発会議 (地球サミット), 京都議定書, パリ協定	第3編 私たちの生活と経済 4 財政と国民の福祉 ⑤環境保全の担い手としての政府 ○広がる環境問題と政府の対策 ・地球温暖化, 持続可能な社会	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①~②	D(1)世界平和と人類の福祉の増大	ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 地球環境, 資源・エネルギー, 貧困などの課題の解決のために経済的, 技術的な協力などが大切であることを理解すること。
第4部 国際 第1章 国際社会 第2節 貧困解消と環境保全 3 資源・エネルギー問題 ・化石燃料, 3R, 再生可能エネルギー	第6章 国際社会に生きる私たち 2節 国際社会が抱える課題と私たち ⑦「生命の星」を守るために ○地球温暖化とその影響 ・地球温暖化, 温室効果ガス ○国際社会の動きとこれから ・国連環境開発会議 (地球サミット), 京都議定書, パリ協定	第5章 地球社会と私たち 2節 さまざまな国際問題 2 資源・エネルギー問題 ○限りある資源 ・石油, 天然ガス, 化石燃料 ○これからの日本のエネルギー ・太陽光, 風力, 地熱, バイオマス, 再生可能エネルギー (もっと公民) これからの日本のエネルギーを考える	第4編 私たちと国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み ⑤限りある資源とエネルギー ○増え続ける世界の資源・エネルギー消費 ・石油, 石炭, 天然ガス, 化石燃料, 地球温暖化 ○新しいエネルギーの開発に向けて ・太陽光, 風力, 地熱, バイオマス, 再生可能エネルギー (アクティビティ) 日本のエネルギーの未来について考えよう	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用  4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	9~10 23~24		

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
帝国書院	教育出版	東京書籍	日本文教出版	項目	ページ	[公民的分野]	
<b>[公民的分野]</b>							
第4部 国際 第1章 国際社会 第2節 貧困解消と環境保全 4 国際社会のよりよい発展 ・ <b>持続可能な開発目標（SDGs）</b> ， <b>持続可能な社会</b>			第4編 私たちと国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み ⑥地球規模の環境問題と国際協力 ○地球温暖化とその影響 ・ <b>温室効果ガス</b> ， <b>地球温暖化</b> ， <b>海面上昇</b> ○気候変動と国際協力 ・ <b>国連人間環境会議</b> ， <b>温室効果ガス削減</b> ， <b>京都議定書</b> ， <b>パリ協定</b> (アクティビティ) パリ協定の意義と課題	<はじめに> <b>地球温暖化について考えよう</b>	①～②	D(1)世界平和と人類の福祉の増大	ア 次のような知識を身に付けること。 (イ)地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解すること。
よりよい社会を目指して 地球環境問題、資源・エネルギー問題の解決に向けて～「持続可能な社会」の実現に向けた地方公共団体の取り組み～ ・ <b>再生可能エネルギーの導入拡大</b> ， <b>SDGs未来都市</b>	第5章 安心して豊かに暮らせる社会 2節 これからの日本経済の課題 ①循環型社会に向けて～経済活動と環境 ○循環型社会の実現へ ・ <b>循環型社会</b> ， <b>3R（リデュース・リユース・リサイクル）</b>	第4章 私たちの暮らしと経済 5節 これからの経済と社会 1 公害の防止と環境の保全 ○新たな公害と地球環境問題 ・ <b>省資源</b> ， <b>省エネルギー</b> ○循環型社会に向けて ・ <b>3R（リデュース・リユース・リサイクル）</b> ， <b>循環型社会</b> (もっとと公民) 公害のない社会へ～水俣市を例に考える	第4編 私たちと国際社会 2 国際社会の課題と私たちの取り組み ⑦持続可能な社会をめざして ○SDGsとは ・ <b>持続可能な開発目標（SDGs）</b>	5 <b>自分たちにできることを計画して実践しよう</b>	31～36	D(2)よりよい社会を目指して	持続可能な社会を形成することに向けて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を探究する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述すること。
第4部 国際 第2章 課題の探求 1 持続可能な社会を目指して ・ <b>持続可能な社会</b>	終章 私たちが未来の社会を築く 1節 持続可能な未来の社会へ ①持続可能な未来と私たち ・ <b>SDGs</b>	終章 より良い社会を目指して 1 持続可能な社会の形成者として 2 持続可能な社会を実現するために ・ <b>持続可能な社会</b>	第5編 私たちの課題 -持続可能な社会をめざして- ・ <b>持続可能な社会</b>				

教科書（出版社）					ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
大日本図書	東京書籍	学校図書	教育出版	啓林館	項目	ページ		
<b>[第1分野]</b>								
単元6 地球の明るい未来のために 2章 科学技術と人間 1 エネルギーの利用 ・電気エネルギーの利用、電気エネルギーのつくり方	単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 第2節 エネルギー資源の利用 ○電気エネルギーの利用 ○発電の方法 ○再生可能なエネルギー資源 ・地熱、バイオマス	3-5 自然・科学技術と人間 ②エネルギーの供給 ○電気エネルギーの供給 ・エネルギー資源、石油、石炭、天然ガス	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち 4-1 生活に欠かせない電気 ・化石燃料、石油、天然ガス	単元 エネルギー運動とエネルギー 5章 エネルギー資源とその利用 1 生活を支えるエネルギー（図77）いろいろな発電方法 ・化石燃料 2 エネルギー利用上の課題 ・大気汚染、地球温暖化	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用	9~10	(7) 科学技術と人間	ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) エネルギーと物質
2 エネルギー利用の課題 ・化石燃料の利用と課題、再生可能エネルギー		3-5 自然・科学技術と人間 ②エネルギーの供給 ○再生可能エネルギー ・地熱発電、風力発電、バイオマス発電	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち 4-2 エネルギー資源の開発と有効な利用 ○化石燃料の利用と地球環境への負荷 ・化石燃料、石油、天然ガス ○新しいエネルギー資源 ・再生可能エネルギー、太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電	単元 エネルギー運動とエネルギー 5章 エネルギー資源とその利用 3 エネルギーの有効利用 ・生物資源（バイオマス）、再生可能エネルギー（広がる世界） ○再生可能エネルギーの利用 ○エネルギーの有効利用	4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	23~24		⑦ エネルギーとエネルギー資源様々なエネルギーとその変換に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では様々なエネルギーの変換を利用していることを見いだして理解すること。また、人間は、水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識すること。
4 いろいろな物質の利用 A 有機物の利用 ・プラスチックの長所と問題点、プラスチックのリサイクル	単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 第1節 さまざまな物質とその利用 ・プラスチックの性質（表1） 代表的なプラスチックの用途と種類 ・プラスチックの未来（図2）生分解性プラスチック	3-5 自然・科学技術と人間 ③身のまわりの素材・技術 ○プラスチック（図24）いろいろなプラスチックの種類とその用途	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 5章 科学技術の発展と私たち 5-1 さまざまな物質とその利用 ○さまざまなプラスチック（表1）主なプラスチックの性質と用途 5-2 限りある資源と有効な利用 ○3R（リデュース、リユース、リサイクル） ・リサイクル、再資源化	単元 環境自然と人間 2章 さまざまな物質の利用と人間 2 プラスチック ○プラスチックの利用と廃棄（図32）プラスチックの種類と特徴	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用	9~10		④ さまざまな物質とその利用物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識すること。
5 暮らしを支える科学技術 B 科学技術の課題と未来 ・環境を守る科学技術、持続可能な社会と科学技術	単元5 地球と私たちの未来のために 第3章 科学技術と人間 第2節 エネルギー資源の利用 ○持続可能な社会へ	3-5 自然・科学技術と人間 ④持続可能な開発目標 ○持続可能な社会づくりの必要性 ・持続可能な社会、SDGs ○環境保全の取り組み ・ごみの減量、3R、食品ロス	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 5章 科学技術の発展と私たち 5-3 発展を続ける科学技術 ○科学技術の発展とエネルギー	単元 環境自然と人間 4章 人間と環境 3 人間の活動と自然環境 ○地球温暖化（図66）温室効果 ・化石燃料、二酸化炭素、地球温暖化	<はじめに> 地球温暖化について考えよう	①~②		(イ) 自然環境の保全と科学技術の利用 ⑦ 自然環境の保全と科学技術の利用 自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識すること。
終章 これからの私たちの暮らし 1 持続可能な社会にする方法 ・調べ方の例、持続可能な社会をつくる方法を考えよう、発表して意見を交換しよう 2 未来へつながる	単元5 地球と私たちの未来のために 終章 持続可能な社会をつくるために 第1節 地球環境と私たちの社会 ・持続可能な社会の実現 ○変わりゆく実のまわりの生物 ・外来種、生態系 ○自然環境の変化と 国際的など取り組み 〈from Japan 世界につながる科学〉SDGsで世界を変える ○地球の資源と環境について考える	3-5 自然・科学技術と人間 ④持続可能な開発目標 ・SDGs（探求） 身のまわりの技術の調査	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 終章 科学技術の利用と自然環境の保全 ○持続可能な社会をつくるために ・地球温暖化、気候変動、持続可能な社会（ハローサイエンス） 持続可能な開発目標（SDGs）	単元 環境自然と人間 5章 持続可能な社会をめざして 2 これからの社会を担う ・循環型社会、3R、再資源化、持続可能な社会、SDGs	4 地球温暖化に対してできること	13~28		イ 日常生活や社会で使われているエネルギーや物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について、科学的に考察して判断すること。

教科書（出版社）					ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
大日本図書	東京書籍	学校図書	教育出版	啓林館	項目	ページ		
<b>【第2分野】</b>								
<p>【2年】単元4 気象のしくみと天気の変化</p> <p>4章 日本の気象</p> <p>3 自然の恵みと気象災害</p> <p>・気象災害、気象と農業の関係、気象災害を防ぐ、よりよい生活を目指して－SDGs－</p>	<p>【2年】単元3 天気とその変化</p> <p>第3章 大気の動きと日本の天気</p> <p>第5節 気象現象がもたらすめぐみと災害</p> <p>○気象災害に対応するために</p> <p>・ハザードマップ、避難経路</p> <p>【2年】単元3 天気とその変化（発展）from Japan 世界につながる科学 温暖化予測で世界に貢献</p> <p>・気候変動、地球温暖化</p>	<p>【2年】2-4 天気とその変化</p> <p>第3章 日本の天気</p> <p>③ 気象に関わる恵み、災害</p> <p>○気象の変化がおよぼす恵み</p> <p>○気象の変化がおよぼす災害（課題発見 探求5）</p> <p>気象に関わる恵みや災害</p>	<p>【2年】単元3 気象とその変化</p> <p>5章 大気の躍動と恵み</p> <p>5-1 雨や雪、風が人間生活を襲うとき</p> <p>○災害から身を守るために</p> <p>・ハザードマップ、避難指示、防災情報</p> <p>（図4）水や風の恵み</p> <p>・風力発電</p>	<p>【2年】単元 地球</p> <p>地球の大気と天気の変化</p> <p>4章 大気の動きと日本の四季</p> <p>3 天気の変化がもたらす恵みと災害</p> <p>○天気の変化がもたらす災害に備える</p> <p>・防災、減災</p>	<p>2 地球温暖化の影響</p> <p>（1）災害の発生</p> <p>4 地球温暖化に対してできること</p> <p>（6）災害に備える</p>	<p>3～4</p> <p>25～26</p>	<p>(4) 気象とその変化</p> <p>ア 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(エ) 自然の恵みと気象災害</p> <p>⑦ 自然の恵みと気象災害</p> <p>気象現象がもたらす恵みと気象災害について調べ、これらを天気の変化や日本の気象と関連付けて理解すること。</p>	
<p>単元6 地球の明るい未来のために</p> <p>1章 自然環境と人間</p> <p>1 自然環境の変化</p> <p>A 生物と自然環境</p> <p>B 人間の活動と自然環境</p> <p>・地球規模での気候の変化、地球温暖化</p>	<p>単元5 地球と私たちの未来のために</p> <p>第1章 自然のなかの生物</p> <p>第3節 炭素の循環と地球温暖化</p> <p>・生態系と地球温暖化</p> <p>第2章 自然環境と調査と保全</p> <p>第3節 自然環境の開発と保全</p> <p>○生物の絶滅</p> <p>（つながらる・科学）環境と科学</p> <p>私たちの生活と熱帯の森林</p>	<p>3-5 自然・科学技術と人間</p> <p>① 自然環境と人間</p> <p>○人間活動と生物のつり合い</p> <p>・外来種、在来種</p> <p>○人間活動と大気をめぐるつり合い</p> <p>・温室効果ガス、地球温暖化、オゾンホール</p>	/	<p>【再掲】単元 環境 自然と人間</p> <p>4章 人間と環境</p> <p>3 人間の活動と自然環境</p> <p>○地球温暖化</p> <p>（図66）温室効果</p> <p>・化石燃料、二酸化炭素、地球温暖化</p>	<p>5 自分たちにできることを計画して実践しよう</p>	<p>31～36</p>	<p>(7) 自然と人間</p> <p>ア 日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、自然環境を調べる観察、実験などに関する技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 生物と環境</p> <p>① 自然環境の調査と環境保全</p> <p>身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解するとともに、自然環境を保全することの重要性を認識すること。</p>	
<p>単元6</p> <p>1章</p> <p>3 地域の自然災害</p> <p>・気象災害、自然災害から身を守る</p>	<p>単元5 地球と私たちの未来のために</p> <p>地域とつながる</p> <p>○自然災害と地域のかかわりを学ぶ</p> <p>自然と人間のかかわり</p> <p>・自然災害</p> <p>（どこでも科学）</p> <p>自然災害が起こったときのための行動計画</p>	<p>3-5 自然・科学技術と人間</p> <p>④持続可能な開発目標</p> <p>○自然の恵みと災害</p> <p>・自然災害</p> <p>（調査レポート例）</p> <p>地域の防災の取り組み</p> <p>・ハザードマップ</p>	<p>単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来</p> <p>2章 自然環境と私たち</p> <p>3-1 調べよう身近な自然災害</p> <p>・自然災害、気象災害、ハザードマップ</p> <p>3-2 私たちにできることは何か？</p> <p>・自然災害、防災情報、避難訓練</p> <p>○学びを広げよう</p> <p>・ジオパーク、防災関連施設</p>	<p>単元 環境</p> <p>自然と人間</p> <p>4章 人間と環境</p> <p>2 自然が人間の生活におよぼす影響</p> <p>○日本付近で発生する自然災害</p> <p>・異常高温、土砂災害、熱中症</p> <p>○地域の自然災害</p> <p>（調査2）地域の自然災害の調査（活用してみよう）</p> <p>自作の洪水ハザードマップ</p> <p>・防災、減災、ハザードマップ</p> <p>（防災減災ラボ）防災・減災をめざす「自助・共助・公助」</p>	<p>2 地球温暖化の影響</p> <p>（1）災害の発生</p> <p>4 地球温暖化に対してできること</p> <p>（6）災害に備える</p>	<p>3～4</p> <p>25～26</p>	<p>⑤ 地域の自然災害</p> <p>地域の自然災害について、総合的に調べ、自然と人間との関わり方について認識すること。</p>	
<p>【再掲】5 暮らしを支える科学技術</p> <p>B 科学技術の課題と未来</p> <p>・環境を守る科学技術、持続可能な社会と科学技術</p>	/	/	<p>単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来</p> <p>2章 自然環境と私たち</p> <p>2-1 身近な自然環境の調査</p> <p>○環境と人間の活動（大気と環境）</p> <p>・地球温暖化、気候変動、化石燃料</p>	/	<p>5 自分たちにできることを計画して実践しよう</p>	<p>31～36</p>	<p>(イ) 自然環境の保全と科学技術の利用</p> <p>⑦ 自然環境の保全と科学技術の利用</p> <p>自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察することを通して、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識すること。</p>	

教科書（出版社）				ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
東京書籍	大日本図書	大修館書店	学研教育みらい	項目	ページ	【保健分野】	
【保健分野】							
第3章 障害の防止 6 自然災害による障害の防止 (章末資料) 4.さまざまな自然災害の危険と安全な避難 5.地域安全マップの作成 ・避難場所, 避難訓練, 防災情報	第4章 障害の防止 4 自然災害による障害の防止 (章末資料) 熱中症の予防と応急手当 ・ハザードマップ ・熱中症	保健④ けがの防止と応急手当 4 自然災害によるけがの防止 ○迅速かつ適切な避難が自他の命を守る ○自然災害に備え、災害情報を入手する (特集資料) ①地震災害から命を守る行動 ②気象災害から命を守る行動 ・災害情報	4章 障害の防止 5 自然災害に備えて ○災害への備えと発生時の行動 (もっと広げる深める) 自然災害から身を守るために ・災害情報、安全の確保	2 地球温暖化の影響 (1) 災害の発生  4 地球温暖化に対してできること (6) 災害に備える	3~4 25~26	(3) 傷害の防止について	(ウ) 自然災害による傷害は、災害発生時だけでなく、二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の多くは、災害に備えておくこと、安全に避難することによって防止できること。
第5章 健康と環境 1 環境への適応能力 ○ 適応能力の限界 (発展) 熱中症の予防と手当 ・熱中症	第6章 健康と環境 1 環境への適応能力 ○ 適応能力の限界 ・熱中症, 熱中症の予防	保健⑥ 環境の健康への影響 1 環境の変化への体の適応 ○ 適応能力には限界がある 3 気象情報の適切な利用 ○ 気象情報で熱中症を防ぐ ・熱中症	第6章 健康と環境 1 環境の変化と適応能力 ○ 体の適応能力 ○ 適応能力の限界 (探求しようよ！) ①熱中症とその予防 ・適応、適応能力	4 地球温暖化に対してできること (7) 熱中症を防ぐ	27~28	(4) 健康と環境について	ア 健康と環境について理解を深めること (ア) 身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ	
[技術分野]					[技術分野]
1編 材料と加工の技術 3章 社会の発展と材料と加工の技術 ② これからの材料と加工の技術 ○新しい材料と加工の技術の開発 ・ <b>持続可能な社会</b>	A編 材料と加工の技術 1章 つくって学ぼう 3 問題を解決する工夫を考えよう ・ <b>廃棄、資源の節約省エネルギー</b> 3章 社会の発展と材料と加工の技術 ○技術の上手な生かし方 （資料3） 生分解プラスチックの循環 ○未来のために技術を誠実に生かす （資料6） バランスのとれた森林サイクル	A 材料と加工の技術 （探求）CLT（クロス・ラミネイ テッド・ティンバー）	4 地球温暖化に対してできること （4） <b>木材の利用</b>	21～22	A 材料と加工の技術  (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。
2編 生物育成の技術 3章 社会の発展と生物育成の技術 ② これからの生物育成の技術 （資料） 生物育成の技術と環境との関わり ○材木を育てる技術 （図3） 林業の仕組み ・ <b>持続可能な社会</b>	B編 生物育成の技術 2章 2章で学んだことをまとめよう （もっと知ろう） 品種改良の技術と知的財産の保護 ・ <b>地球温暖化による夏場の高温に耐えて育つ作物</b> 3章 学びを深め生かそう ○社会の発展と生物育成の技術 （学ぶ） 技術のプラス面とマイナス面 ・ <b>高温でも味のよい米をつくる</b> 未来に技術を誠実に生かす ・ <b>持続可能な社会</b>	B 生物育成の技術 4 森林の育成技術 ○日本の森林資源 （参考）間伐材の利用	4 地球温暖化に対してできること （4） <b>木材の利用</b>  4 地球温暖化に対してできること ◆ <b>福岡県気候変動適応センターについて</b> （主な福岡県の適応施策）	21～22  29	B 生物育成の技術  (3) これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方を考える活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。 イ 技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えること。
3編 エネルギー変換の技術 1章 エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み ②発電の仕組みと特徴 ○さまざまな発電方法 （技術のとびら） これからの発電方法を考えよう ○エネルギーミックスってなんですか？ ・ <b>再生可能エネルギー、地熱発電、バイオマス発電</b>	C編 エネルギー変換の技術 1章 10発電所について知ろう ○様々な発電方法 ・ <b>バイオマス発電、地熱発電</b> 3章 学びを深め生かそう ○社会の発展とエネルギー変換の技術 ・ <b>化石燃料、二酸化炭素、地球温暖化持続可能な社会、SDGs</b>	C エネルギー変換の技術 1-2 エネルギー資源の利用 ①エネルギーの利用 ○エネルギー資源の種類 （参考）バイオマス資源 ・ <b>化石燃料、再生可能エネルギー</b> 3発電と送電のしくみ 発電のしくみ （参考）地熱発電	3 地球温暖化の原因 （1） <b>化石燃料の利用</b>  4 地球温暖化に対してできること （5） <b>再生可能エネルギーの活用</b>	9～10  23～24	C エネルギー変換の技術  (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
[技術分野]					[技術分野]	
3編 エネルギー変換の技術 3章 社会の発展とエネルギー変換の技術 ① エネルギー変換の技術の最適化 ○エネルギー変換技術のプラス面とマイナス面 (資料) パリ協定 ② これからのエネルギー変換の技術 ○新しいエネルギー変換の技術 (資料) ライフサイクルアセスメント	/	C エネルギー変換の技術 3 これからのエネルギー変換の技術 2 エネルギー変換の技術と私たちの未来 ○エネルギー変換の技術のこれから(62図) 次世代の社会に向けたエネルギーに関する取り組み (学習のまとめ・学びを深めよう) エネルギー変換の技術に求められる誠実さ ・新エネルギー	3 地球温暖化の原因 (1) 化石燃料の利用 4 地球温暖化に対してできること (5) 再生可能エネルギーの活用	9~10 23~24	C エネルギー変換の技術	(I) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 電気，運動，熱の特性等の原理・法則と，エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解すること。 イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 (平成29年3月告示)	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
[家庭分野]					[家庭分野]	
1編 私たちの食生活 4章 日常食の調理と地域の食文化 5 日本の食文化と和食の調理 (実習例) エコクッキングに挑戦しようー材料を無駄なく使う工夫ー ・地産地消 (選択) 「私たちの食生活」を主とした課題と実践 エコクッキングにチャレンジ!		B衣食住の生活 4 日常食の調理 ①調理の計画 ○環境に配慮した調理 (エコクッキング)	4 地球温暖化に対してできること (3) 食生活の工夫	19~20	B 衣食住の生活	(3) 日常食の調理と地域の食文化 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできること。
1編 私たちの食生活 4章 日常食の調理と地域の食文化 6 持続可能な食生活を目指して ○食品の廃棄 ○食品の輸送とエネルギー ・食品の廃棄、フードマイレージ	B編 衣食住の生活 第3章 調理と食文化 7 地域の食文化を知らう ○地域でとれた食材の利用 ・地産地消	7 持続可能な食生活 ○持続可能な食生活をめざして(豆知識) フードマイレージ、バーチャルウォーター ・食品ロス	4 地球温暖化に対してできること (3) 食生活の工夫	19~20		(エ) 地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできること。
2編 私たちの衣生活 2章 生活を豊かにするために 2 持続可能な衣生活を目指して ○資源や環境と衣服 ○資源や環境に配慮した衣生活の工夫 (資料) 江戸時代と循環型社会 ・リデュース、リユース、リサイクル	B編 衣食住の生活 4章 私たちの衣生活 3 衣服を計画的に活用できるようになるう (学ぶ) 衣服の計画的な活用とは ○衣服の計画的な活用のために ~私たちの衣生活と衣服の流れ~ ・持続可能な社会、衣生活の3R	B衣食住の生活 2 日常着の手入れと保管 ②布の繊維に応じた手入れ (発展) 進化する素材 暑さ・寒さへの対応ーウォームビズ素材・クールビズ素材ー 4 持続可能な衣生活 持続可能な衣生活をめざして ・リサイクル	4 地球温暖化に対してできること (2) 衣服の着方の工夫	17~18		(5) 生活を豊かにするための布を用いた製作 ア 製作する物に適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 イ 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。
3編 私たちの住生活 1章 住まいの役割と安全な住まい方 5 災害への対策 ・防災、減災、避難所・仮設住宅	6章 私たちの住生活 5 災害に備えた安全な住まい方を考えよう ○自然災害への備え ・自然災害、防災、避難場所の確認	B衣食住の生活 2 安全な住まいで安心な暮らし ②災害への備え ・防災、自然災害	2 地球温暖化の影響 (1) 災害の発生  4 地球温暖化に対してできること (6) 災害に備える	3~4  25~26		(6) 住居の機能と安全な住まい方 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること。

教科書（出版社）			ワークブック		学習指導要領 （平成29年3月告示）	
東京書籍	教育図書	開隆堂	項目	ページ		
[家庭分野]					[家庭分野]	
6 持続可能な住生活を目指して ○持続可能な社会と私たちの住生活 ・ <b>持続可能な社会</b>	/	3 持続可能な住生活 持続可能な住生活をめざして ○資源や再生可能エネルギーを活用する ・ <b>再生可能エネルギー、環境共生住宅、ZEH</b>	4 地球温暖化に対してできること (1) 住まいの工夫  (5) 再生可能エネルギーの活用	15～16  23～24		イ 家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること。
4編 私たちの消費生活と環境 2章 責任ある消費者になるために 2 省エネルギーと持続可能な社会 ○私たちの生活とエネルギー消費 ・ <b>地球温暖化、再生可能エネルギー</b>	C編 消費生活・環境 ○持続可能な社会を目指そう ・ <b>持続可能な開発目標（SDGs）</b>	C消費生活・環境 4 持続可能な社会 ②消費行動が環境に与える影響 ○地球温暖化を抑える暮らし ○国際的な取り組みの中で（memo） 温暖化を防ぐ国連の取り組み ・ <b>温室効果ガス、地球温暖化、気候変動、再生可能エネルギー</b>	<はじめに> <b>地球温暖化について考えよう</b>	①～②	C 消費生活・環境	(2) 消費者の権利と責任 ア 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。
4編 私たちの消費生活と環境 2章 責任ある消費者になるために 3 持続可能な消費生活を目指して ○持続可能な社会の実現 ○資源の消費と廃棄物 ○持続可能な社会 ・ <b>循環型社会、3R、SDGs</b>	2章 消費者の権利と責任 4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう ○地球温暖化と消費者 ○私たちにできること （資料）私たちの生活とCO2、資源 ・ <b>地球温暖化、二酸化炭素の増加、資源、省エネルギー、3R、持続可能な社会</b>	C消費生活・環境 4 持続可能な社会 ②消費行動が環境に与える影響 ○ごみを減らす暮らし ○森林資源を保全する暮らし ・ <b>3R（リデュース、リユース、リサイクル）、循環型社会</b>	5 <b>自分たちにできることを計画して実践しよう</b>	31～36		(3) 消費生活・環境についての課題と実践 ア 自分や家族の消費生活の中から問題を見だして課題を設定し、その解決に向けて環境に配慮した消費生活を考え、計画を立てて実践できること。
		3 世界の国々と連携した持続可能な生活の創造へ ○持続可能な社会は持続可能な生活から ○SDGs目標12「つくる責任・つかう責任」				